

**製品名: HEXA マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM81110**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG2b
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	60.7kDa

**抗原情報**

遺伝子名	HEXA
別名	TSD
遺伝子 ID	3073.0
SwissProt ID	P06865
免疫原	大腸菌で発現したヒト HEXA の精製された組み換え断片。

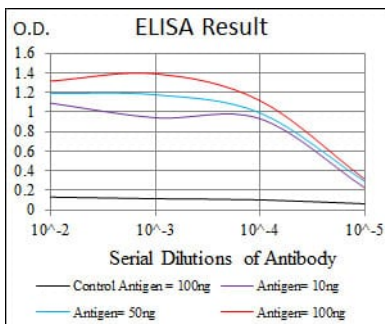
**背景**

この遺伝子は、リソソーム酵素  $\beta$ -ヘキソサミニダーゼの  $\alpha$  サブユニットをコードします。 $\beta$ -ヘキソサミニダーゼは、補因子 GM2 活性化タンパク質と共に、ガングリオシド GM2 および末端 N-アセチルヘキソサミンを含む他の分子の分解を触媒します。 $\beta$ -ヘキソサ

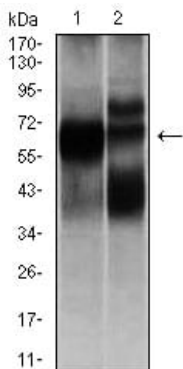
ミニダーゼは、 $\alpha$ サブユニットと $\beta$ サブユニットの2つのサブユニットで構成され、それぞれ別々の遺伝子によってコードされています。 $\beta$ -ヘキソサミニダーゼの $\alpha$ サブユニットと $\beta$ サブユニットは、どちらもグリコシル加水分解酵素ファミリー 20 に属します。 $\alpha$ サブユニット遺伝子または $\beta$ サブユニット遺伝子の変異は、ニューロンにおける GM2 ガングリオシドの蓄積を引き起こし、GM2 ガングリオシドーシスと呼ばれる神経変性疾患を引き起こします。 $\alpha$ サブユニット遺伝子の変異は、テイ・サックス病 (GM2 ガングリオシドーシス I 型) を引き起こします。

## 研究分野

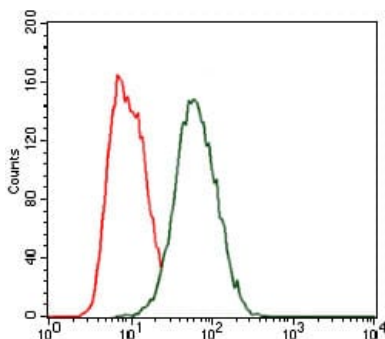
## 画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng); 紫線: 抗原 (10 ng); 青線: 抗原 (50 ng); 赤線: 抗原 (100 ng);



L1210 (1) および HL7702 (2) 細胞溶解物に対する HEXA マウス mAb を用いたウエスタンブロット分析。



HEXA マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (赤) を使用した HeLa 細胞のフローサイトメトリー分析。